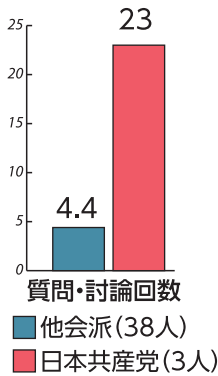


鹿児島市議会での 日本共産党市議団の“3つの役割”

1 市議会での「発言力」は他会派の5倍!

党市議団の市議会での「1人あたり質問討論回数」は23回。

他会派の1人あたり4.4回の5倍の発言力を発揮しています。



2 紹介議員として請願採択のために全力投球!

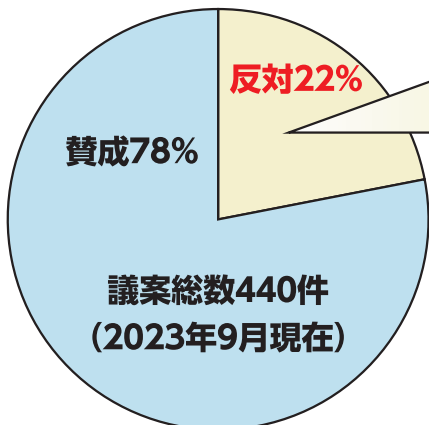
市民の切実な願いを、地方から国に届けることは市議会の重要な責務です。党市議団は市民から提出された請願の紹介議員として、採択のために全力で取り組みました。

加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の創設を求める意見書	2020年第3回定例会	自民・公明・市民連合の 反対 で 不採択 にされる。
「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める意見書		
インボイス制度の実施中止を求める意見書	2022年第3回定例会	
日本政府に核兵器禁止条約の批准・署名を求める意見書	2022年第4回定例会	

3 “オール賛成”の市議会でも、市民の立場で**反対**を表明!



市長提案の議案に対して、自民・公明・市民連合・立憲社民の他会派が「オール賛成」する中で、市民の負担増等を招く22%の議案にキッパリと反対しました。



22%の反対議案の中には!

- 「不明確・不透明」なマリレポート人工島関連予算
- 介護保険2割負担や後期高齢者医療保険料の引上げ
- 市営バス路線の廃止や運賃値上げ
- 令和6年度からの森林環境税(千円)の徴収
- 市営住宅の条例改正(駐車場使用料の規定)
- 市立養護老人ホーム「いしき園・喜入園」の廃止